

木浦



# 風の子 元気な子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.6

令和元年7月9日発行



## 郷土の川の魅力をたっぷりと味わう

「これ、何だ!」「何がいた?」「私にも見せて!」

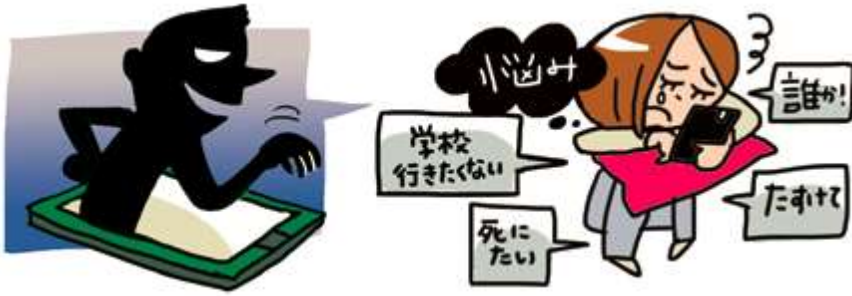
写真から声が聞こえてきそうです。これは、先日、3・4年生が能生内水面漁協の方々の御協力をいただき、木浦川の生き物調べをしたときのコマです。

この日は、下流から調査を始めたのですが、いきなりアユやウグイ、フグなどを捕まえることができたので、楽しくないはずがありません。子どもたちは、服が濡れるのもかまわず、時間を忘れて生き物探しで夢中になりました。また、川の流れの強弱や水音、深さ、水の冷たさなどを体感したことでしょう。結局、午前いっぱい4時間、たっぷりと木浦川での体験を楽しみました。

川や用水の近くには、「危険、近寄るな。〇〇小学校」などという看板が目立ちます。毎年、全国で水難事故が起きていて、何よりも大切な命を守るには必要なのかもしれません。事実、私も8年前、勤務校の6年生が休日のため池に落ちて亡くなるという非常に痛ましい事故を経験しています。

川は、それこそ深い魅力がある一方で命に関わる危険性の両面を持ち合わせています。それを知り責任を持って教えられる大人が見守りながら、子どもが川の楽しさや危なさ、気持ちよさを体全体で感じるができる体験はとても貴重です。その経験を積んだ子どもが郷土の川のすばらしさを受け継ぎ、生きる力を身に付けていくのだと思います。

# ネットトラブルが他人事(ひとこと)になっていませんか



ここでは、ストレートな表現で書かれていますが、「子どもを守るため」であることから御容赦ください。

イラスト:「あなたは大丈夫? 考えよう! インターネットと人権」(公益財団法人人権教育啓発推進センター)より

子どもたちの会話から「YouTube」「ゲーム」「通信」という言葉が頻繁に聞かれます。夏休みを目前に、**子どもたちがネットトラブルの被害者や加害者にならないか**という心配が尽きません。

ゲーム機(パソコン・スマホ等も含む)を与え、ネット接続を許可しているのは保護者です。そのことには、自動車運転と同じように、事故に対する責任を保護者が負わなければなりません。つまり、

- ・被害者になったときの苦しみを背負い込む
- ・加害者になったとき、最後まで責任を取る
- ・いずれも、保護者自身で解決する責任がある

ということです。

学校では、大切な子どもを被害・加害から守るために、子どもたちに情報モラル教育や人権教育を繰り返し、保護者・地域の皆さんへも啓発しています。もし、トラブルになったら、**被害に遭った子はもちろん、してしまった子も学校は全力で守り、解決するために全力で支援していきます。**たとえ学校外のことでトラブルの情報が入ると、状況を聞き取り、指導をしています。しかし、教員は、子どもが自宅でネットに悪口を書き込んでいる所へ行ってスイッチを切ることができないのも事実です。

夏休み中は、普段以上に子どもはゲームやネットに関わり、目の前の子どもが危険にさらされます。家庭や地域では、保護者・地域の皆さんが自分事として子どもたちを守ってください。



## 風の子たちの応援団 KONOURA Supporters

4月から当校の教育活動に関わり、子どもたちを支援して下さる皆様からメッセージをいただきました。これまで、38名となりました。子どもの数の2倍以上です。これらのカードを見ると、当校は地域の皆様の熱い思いに支えられているということを実感します。本当にありがたいことです。更に多くの皆様のお越しをお待ちしています。

### 【今後の予定】

7/24 (水) 水泳記録会、1 学期終業式  
26 (金) 市親善水泳大会  
8/ 1 (木) 上越地区水泳選手権大会  
13 (火) ~16 (金) 閉庁日 (学校無人化)

8/22 (木) 緑の少年団交流会  
26 (月) P T A 主催木浦学級  
27 (火) 2 学期始業式

